

<そよかぜ学級（自閉・情緒）板書計画>

- 1 主題名 自然と仲良くくらす [D-20 自然愛護]
- 2 資料名 「やさしい光」(石川県教育委員会「ふるさとがはぐくむ どうとくいしかわ」小学校中学年)
- 3 ねらい 自然の大切さに気づき、身近な自然や動植物を大切にしようとする心情を育てる。

やさしい光

初め
たくみとお母さん
ホタルの観察会

楽しみ
わくわく

ほうっと
やさしい光が一つ
あつという間に
ホタルでいっぱい

つかまえないで。
そっとしておいて。

ホタルは一年かかって
大きくなる
成虫は二週間くらいしか
生きられない

ホタルをたくさんの人に
楽しんでもらいたい

水がよこれた
えさがなくなった

きれいな水
さよふ虫のえさ

そうと手に取ると
道のわきの草の葉の上
うつつにあげた

「やさしい顔
。笑顔
。来年も見たいな。」

その光がなぜかいつそ
かがやきを増している
ように感じられた

ホタルが見られる場所が
もつと増えるといいなあ

魚の世話
。川をよこさない

大切にす
ホタル ↓ みるなにも
知ってほしい

生き物を
大切にす
心

自然

坂井先生

徳田のホタル 自然のままが一番
← 大切にす
守る

生き物
アサガオ 毎日 水やり
金魚 えさ

モシモシタイム
ホタルは虫が舞いからつづまさない
方がいいんだね。元気でね。
カエル 人に近づいたらつかまそう。
ネコ またお母さんとホタルを見たいな。
イヌ 来年もこの場所にホタルがいると
いいな。この場所を大切にすよ。

もっと近くで
見たいなあ。

思わず手をはさそうとした

きれいだなあ

どうしてだめなの
手に取って見るだけ
ホタルが近くに
よってきたのに...

時計